

参考資料 3 集団ストーカー被害者を統合失調症に見せかける手法が横行

全世界に共通した犯罪である事が理解出来る集団ストーカー犯罪マニュアルです。
政府や国際的な期間の制作に批判的な意見をやる人をターゲットにして監視・虐待します。



通常殺人裏行傷害強盗等の犯罪となれば、マニュアルは犯行の証拠隠滅方法、アリバイ作り、犯罪者が特定されないように解説されるものになるはずですが、

この集団ストーカーマニュアルは、犯罪そのものが無く、本人の被害妄想や精神疾患から来る症状と見せかける為の、手法とノウハウを明かしたもので、常識の範疇を超えた大組織にのみ可能な犯罪のマニュアルという内容になっています。
その統合失調症に見せかける為の、手口の一端を抜粋してみました。

概要「本作戦行動は積極的監視である。」から始まる軍事行動、諜報活動を予測される言葉から始まります。

「本作戦行動は公的な司法制度によって黙認され、隠蔽される一方で、善悪に対する鋭敏な判断力を持たない市民からは全く犯罪であるとは見なされない。」という前提で行われる作戦行動である。

「作戦員はすべての加害工作が信憑性をもちにくいよう最大限注意しなければならない。これは対象者が警察、他の公的機関、友人、隣人、家族、医者に訴え出た場合に、対象者の「考えすぎ」か、あわよくは精神疾患の症状と見なされる必要があることを意味する。」被害妄想、精神疾患に見せる事も大前提で行うものであります。

「本システムは信憑性の得にくさを維持するために長年医療機関の四収活動を行い、対象者が加害を訴え出た場合今日では大部分の対象者はすぐに精神疾患のレッテルを貼られ、向精神薬を強制投与される。そのような状況にあってもなお、対象者が窮状を訴えた人々のほとんどが対象者に対して犯罪が行われたことを信じていることがないよう、作戦員は自分の役割を果たし、巧みに工作活動を行わなければならない。作戦員としてあなたはこの訓練を受ける。」「信憑性を得にくいように工作を行う能力を証明しなければならない。」この冒頭の説明は、我々被害者側から見ると合点がいく事ばかりである。

「本システムは先進技術に恵まれ、対象者が家の中にいるときでも、音もなく壁越しに重い罰を与えることができる。この行為が信憑性をもつことはほとんどない。」テクノロジー犯罪のサイバー拷問を説明している。

「数々の『些細』で侵略的な加害工作を用いて対象者のストレスや絶望感を最大化させ、健康を悪化させるためには心理学者が鍵となる。」
「さまざまな『普通』にしかみえない『問題』を継続的に対象者に負わせる。」

「監督者は加害工作を対象者ごとにカスタマイズして『人生のありふれた出来事』に見せる必要がある」

「人生のありふれた出来事」としては忘れ去ることができないほど頻繁な、身に迫る積極的監視を行う。

「苦情を訴え出ても対象者が信用されることはなく、大量の、価値の低い物の破壊による加害は非常に重要である。なぜならもし対象者が数多くの価値の低い物の損害を訴え出れば、対象者が注意散漫でだげで、場合によっては妄想的であるようにみせられるからである。」

以上の抜粋部分を見て頂くだけで、前もって予備知識があれば、安易に精神疾患であると決め付ける事の早計さが分かり、周囲の人々も巻き込み犯罪に加担させてしまう仕組みが理解出来るはずですが、

『Manual For Organized Gang Stalking Operations... FBI's COINTELPRO, Operation Gladio, NATO Stay Behind Armies, and Ongoing Global U.S. Military "Unconventional" / "Civil-Military" / "Psy-War" / "Information War" Operations』

(参照元 URL: <https://sagaciousnewsnetwork.com/wp-content/uploads/2019/06/Manual-For-Organized-Gang-Stalking-Operations.....pdf>) (2021/4/20 リンク切れ修正, 2021/10/08 リンク切れ再修正.)

(2021/10/08 追記: リンク切れの場合 sagaciousnewsnetwork.net か duckduckgo.com で「Manual For Organized Gang Stalking Operations」と検索して下さい)

本文書は手口情報を共有することで日本国内の集団ストーカー被害者の自己防衛に資することを目的に作成されました。

長文のマニュアルであるが、統合失調症に見せかける部分を抜粋し簡単に解説いたします。下の URL に全文掲載されています。

<https://ameblo.jp/uwyegfvfduyeg8734r/entry-12644577828.html> からの引用